1.7.1 電卓の使い方

数学の授業で電卓を利用する機会がかなり増えてきた。「平方根」「確率」「資料の整理」等が代表的な教材であろう。ここで指導しなくてもいいのですが，中学での本格的に電卓を使用する教材ですのでここに入れました。

コンピュータと電卓の違いは知っていますか？ 次の式を入力して出てきた結果ですぐわかる。

計算：$1+2\times3$

入力：[1] [+] [2] [×] [3] [=]

結果が 7 になればコンピュータで，結果が 9 になれば電卓です。自分が電卓を使っているのか，コンピュータを使っているのかをまず最初に確認させたい。そう電卓は計算順序を知らないのです。(このことは電卓の大事な特徴です。)

1. [AC]と[C]の違い (訂正の仕方)

   最初に[AC] (AC…All Clear) と[C] (C…Clear) の違いを教えるといい。次の計算問題をわざと間違えながら計算するのです。

   計算：$2\times3+4$

   入力：[2] [×] [3] [+] [5] [C] [4] [=]

   [C]は「表示を消す」，[AC]は「すべて消す」と説明すればいいでしょう。

2. メモリーの使い方

   次はメモリーです。まず電卓に[M+] [M-] [MR] [MC]の表示がある電卓かどうか確認させて下さい。機種によっては[MR]と[MC]が一緒になった[MRC]なんていうのもあります。

   計算：$2\times3+4\times5$

   入力：[2] [×] [3] [=] [M+] [4] [×] [5] [=] [M+] [MR]

   電卓の表示に M があるとメモリーに数が記憶されている状態だよということも伝えておいた方がいいでしょう。

3. 2 乗の計算の仕方

   中学にはいると 2 乗がよく出てきます。いちいち数を入力していたのでは面倒くさいということで，これも教えましょう。

   計算：2.34^2

   入力：[2] [·] [3] [4] [×] [=]

これで基本は終わりです。さぁ実際の問題演習に入りましょう。

問. 次の計算を電卓を用いてしなさい。
(1) $1+2+3+4+5+6+7+8+9+10$
(2) $1^2+2^2+3^2+4^2+5^2+6^2+7^2+8^2+9^2+10^2$
(3) $1^3+2^3+3^3+4^3+5^3+6^3+7^3+8^3+9^3+10^3$

出題する問題は各自で工夫してもらうとして，こんな感じで 1 時間指導すると電卓アレルギーみたいな症状はなくなります。今の子は電卓についている取扱説明書なんて読まないでしょうから，しっかりと教えてあげなければなりません。